



# ティー・ブレイク

NO. 90

## 初めての海外旅行大失敗談

まだ会社勤務の時代、弁理士試験に合格した年に海外出張に行くことになった。ドイツのデュッセルドルフで開催されるゴム・プラスチックの見本市への参加とベルギーのブラッセル郊外にある提携企業との打合せが目的であった。旅行自体は日本の業界団体の主催するツアーであり、私は伊丹-羽田-成田空港ルートで移動した。

### 失敗その1

成田が千葉から北の方向にあることは知っていたが、どの程度離れているかは分からず、高々知れた距離である程度の認識であったし、ツアーなのだから連絡は考慮されており、連絡のリムジンバスに乗ればすぐ着くと思いついていた。羽田についてバスを探すと、予約はあるかという。ないと答えると待ち時間は1時間以上だという。乗車時間を入れると集合時間に間に合わないと思われた。その旨を係員に言うと、ヘリコプターがあって、所要時間は20分で値段は3万円だという。時間的には余裕があるが、この費用は会社で負担してもらえないので他の方法を聞くと、JRか京成電鉄で行けるという。すぐにモノレール、山手線を利用して上野に移動したが、京成電鉄の成田行きの特急には長蛇の列ができていた。途方に暮れているとタクシーの運転手が寄ってきて、成田へ行くのかと聞く。そうだと答えてここで待って特急に乗るといって空港に着くか聞いてみたらこれも集合時間にとっても間に合わない。タクシーの運転手が集合時間を聞き、私なら間に合わせるといので任せて乗った。高速道路を飛ばしに飛ばして確かに集合時間ぎりぎりに成田に着いた。タクシー代はなんと3万円であった。成田空港は遠かった。

### 失敗その2

ブラッセルに行くために、デュッセルドルフ空港に行き、搭乗口の近くで時間待ちをしていると、案内放送が我が名を呼び、カウンターへ来いという。駆けつけると、あなたの乗る便は急にキャンセルになったという。どうしたらいいのかと聞くと、金を返すから、鉄道か何かを利用しろという。ドイツの蜘蛛の巣のような鉄道網を思い出して愕然とした。乗り間違えたらどこの国へ行ってしまいか分からないし、ベルギーに何時に着くかも分からない。途方に暮れていると、何やらカウンター内で係員同士が話をし、臨時のバスが出るかもしれないのでしばらく待てという。どうしてもこの日にブラッセルへ行く必要のある乗客が他にも多くいて、何とかしないといけなくなったようである。20~30分すると、バスが来た。何時に着くとも言わずに客が乗り終わるとすぐに走り出し、Auto Bahnを高速でぶっ飛ばした。航空機で1時間といえば東京-大阪位の距離だから、6時間はかかるのかと覚悟していたが、3時間余りの走行で夜の9時すぎに無事ブラッセル空港に着き、他の乗客は各自乗り継ぎのカウンターに移動し、私だけが残された。とりあえずタクシーに、と思ってはっと気がついた。ここはベルギーだから、通貨はベルギーフラン。全く持っていない。あわてて空港内を走り回って両替所を探したが、この夜中に全て業務終了している。ほとんど人のいない空港を走り回って、やっと空港から見えるホテルを指さし、フロントで両替してくれることを教えてくれる人に出会った。予定より4時間オーバーして夜10時過ぎにホテルにたどり着いたが、バスで行ける陸続きの外国があることを、この時は全く考えつかなかった。

(Y.O)